

地域生物多様性増進法 申請様式等の見直しのポイント

～地域における生物の多様性の増進のための活動の
促進等に関する法律に基づく認定申請に向けて～



令和8年2月

はじめに

- 環境省・農水省・国交省では、民間の取組等によって生物多様性の保全が図られている区域を「自然共生サイト」として認定しています。
- 自然共生サイトに認定されることにより、国際目標である30by30目標の達成に寄与できるなど、様々なメリットがあります。
- この度、申請の効率化等のため、申請様式及び手引きの見直しを行いました（2026年2月）。詳細は次頁以降をご参照ください。

自然共生サイトについて

<認定された自然共生サイトの例>



盛岡セイコー工業 わくわくの森・わくわくトープ（岩手県）



富士フィルム 湧水の森林（もり）（神奈川県）



コウノトリ育む祥雲寺水田とビオトープ（兵庫県）



つくばこどもの森保育園（茨城県）

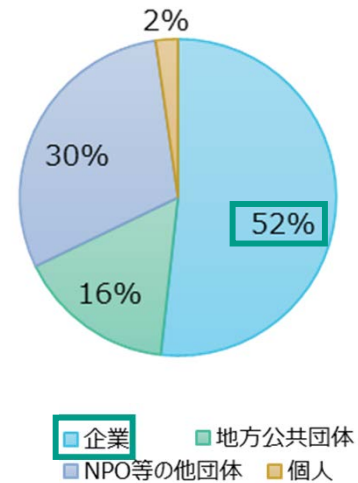


三井住友海上駿河台緑地（東京都）



山川の海のゆりかご（鹿児島県）

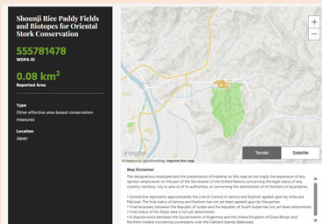
<申請主体の内訳>



自然共生サイトに認定されるメリット

◆30by30目標達成に貢献する

- ・ 自然共生サイトの区域のうち保護地域との重複を除いた面積を国際OECMデータベースに登録。
- ・ 行為規制を伴わず、生物多様性の価値がある場を公的に評価。



出典：Protected Planet

◆社会的な発信ができる（主に企業）

- ・ 企業経営においても、自然資本への依存やリスクを評価し、生物多様性保全に積極的に取り組むことが求められている（TNFD開示等）。



TNFD情報開示
提言やガイダンスに沿って
TNFDレポートの作成

◆活動に対する支援を受けやすくなる

- ・ 国による認定を受けることで、民間企業等からの支援を呼び込みやすくなる。
- ・ 環境省で支援マッチング、企業へのインセンティブとなる支援証明書の発行も可能。
- ・ 生物多様性保全推進支援事業（交付金）や各種モデル事業等公的支援も。

生物多様性地域戦略等の自治体の計画とも整合するとさらに効果大！



出典：兵庫県ウェブサイト

◆広告効果、ネットワーク形成

- ・ ロゴマークの使用等により、国の認定を受けたことをPR。
- ・ 生物多様性保全に対する社会の関心が高まるほど、社会的評価が高まることに期待。
- ・ 自然共生サイト間のネットワーク形成も可能。



出典：横枕農園ウェブサイト



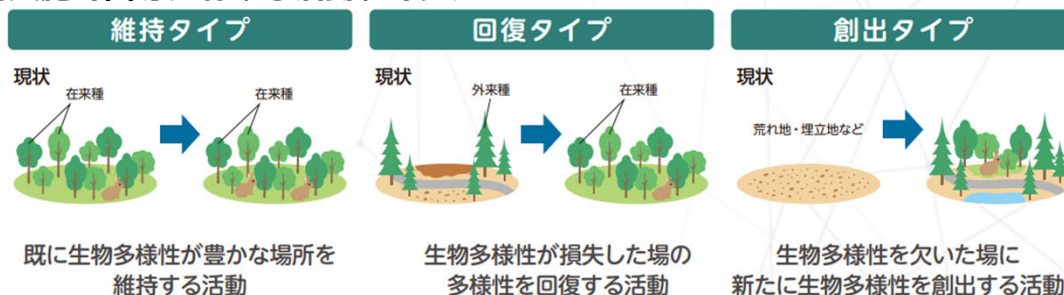
自然共生サイト検索ナビ

増進活動実施計画等の申請様式の見直しについて

- 増進活動実施計画等の申請様式について、複数タイプ（維持・回復・創出）をまとめて申請可能とするとともに、わかりやすくするため構成や記載内容を見直しました。
- 令和8年第2回（令和8年10月認定）より新様式による受付を開始し、第3回（令和9年2月認定）には新様式への完全切り替えを予定しております。

複数タイプでの申請について

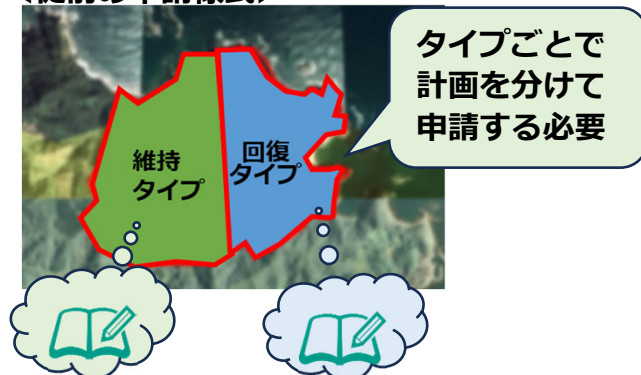
<増進活動実施計画等における活動タイプ>



<複数タイプでの申請が想定される事例>

- ・ 豊かな藻場があるものの、その一部の磯焼けしているエリアで藻場育成を実施
→維持（豊かな藻場の維持）と回復（藻場育成）で1つの計画として申請
- ・ 豊かな森林と、それに隣接する荒れた放置林において適切な管理を開始
→維持（豊かな森林の維持）と回復（放置林の回復）で1つの計画として申請
- ・ 豊かな里山と、それに隣接する場所において新たにビオトープを創出
→維持（豊かな里山の維持）と創出（ビオトープの創出）で1つの計画として申請

<従前の申請様式>



<新しい申請様式>



令和8年度認定スケジュール

	第1回	第2回 ＜新様式へ切り替え※＞	第3回 ＜新様式へ完全切り替え＞
申請書類提出目途	令和8年1月末	令和8年5月末	令和8年9月末
事務局による予備審査	令和8年2月	令和8年6月	令和8年10月
有識者審査	令和8年3月～4月	令和8年7月～8月	令和8年11月～12月
省庁審査	令和8年5月	令和8年9月	令和9年1月
認定	令和8年6月	令和8年10月	令和9年2月

※旧様式での提出も可能

申請様式の見直しのポイント

- 複数タイプをまとめて申請できるようにしたことなどから、申請様式の構成を見直しました。
- その他、旧様式でのわかりにくい表現などを修正しました。

構成の見直し

【新様式の構成】

番号	書類名
様式1-1	増進活動実施計画 認定申請書
別紙 1	暴力団排除に関する誓約事項
様式1-2	増進活動実施計画（本体）
別紙 1	基本的事項
	申請者記入シート
	土地所有者等記入シート ① ②
	公物等記入シート
別紙 2	サイト詳細シート①活動内容
	サイト詳細シート②サイトの状況等
別紙 3	認定された場合の確認事項
様式1-3	活動計画概要

【旧様式の構成】

番号	書類名
様式1-1	増進活動実施計画 認定申請書
様式1-2	増進活動実施計画
別紙 1	サイト詳細シート①基本的事項
	申請者記入シート
	連携活動実施者シート<削除>
	土地所有者シート
	公物等記入シート
	サイト詳細シート②サイトの状況等
別紙 2	活動計画概要
	森林のチェックシート

※様式2-1～2-3も同様の見直しを実施。

※様式4-1～4-6及び自由様式には変更なし。

<複数タイプをまとめて申請可能としたことによる修正点>

- ①旧様式「別紙 1 - 2 増進活動実施計画」シートのうち、「3. 実施区域」及び「4. 活動内容」を、新様式「別紙 2 ①活動内容」シートとして整理。
- ②複数タイプを一つにまとめて申請する場合、新様式「別紙 2 ①活動内容」シート及び「別紙 2 ②サイトの状況等」シートはタイプごとに整理し、それ以外は計画でまとめて申請可能に。

<わかりやすさの観点による修正>

- ③旧様式「別紙 3 森林のチェックシート」について、新様式「様式1-2増進活動実施計画」シートに移動。
- ④旧様式「別紙 1 ①基本的事項」シートのうち、「6. 認定後」の手続きに関する質問」を新様式「別紙 3 認定された場合の確認事項」シートとして新設。旧様式「別紙 1 ③OECM」シートを新様式「別紙 3 認定された場合の確認事項」シートに統合し、OECM関係の項目をひとまとまりに。
- ⑤旧様式「別紙 1 ①基本的事項」シートのうち「暴力団排除に関する誓約事項」を新様式「様式1-1増進活動実施計画認定申請書」の「別紙 1 暴力団排除に関する誓約事項」に移動。
- ⑥旧様式「別紙 2 活動計画概要」を新様式「様式1-3活動計画概要」に変更。

その他の見直し

記載誤りや漏れの多い項目について、設問を見直し

<具体例>

- ・ 様式1-2,2-2本体 1 （2）計画期間の開始日を日にち指定から「認定日」に修正
- ・ 様式1-2,2-2本体 2 （1）申請主体（活動主体）等を削除し、申請者情報をひとまとまりに
- ・ 別紙 1 基本的事項シート 4 の関連法令を自由記載から選択式に変更 等

複数タイプを選択する場合の申請様式の記載方法

- 複数タイプで申請する場合、活動内容やサイトの状況等※はタイプごとに整理します。
※様式1-2及び様式2-2の別紙2 サイト詳細シート①活動内容②サイトの状況等

様式1-2,2-2（本体）等※【計画で1つ作成】

1. 概要

(6) 活動類型	<input type="checkbox"/> 生物多様性の維持 <input type="checkbox"/> 生物多様性の回復 / <input type="checkbox"/> 生物多様性の創出				
(7) 活動により増進を望む生物多様性の価値	※ 活動類型（維持・回復・創出）ごとににおける価値を選択してください。				
	<input type="checkbox"/>	対象外	対象外	<div>活動により の価値につ チェックし</div>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	対象外		
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	1) 公約地間によって、生物多様性保全上の必要性が認められている		
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	2) 原生的自然環境と密着した地域		
	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		3) 里地里山といった二次的な自然環境に特徴的な生態系が存する場と
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		4) 生態系サービス提供の場であって、在来種を中心とした多様な動植物健全な生態系が存する場としての価値
	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		5) 伝統工芸や伝統行事といった地域の伝統文化のために活用されている自然資源の供給の場としての価値
	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		6) 希少な動植物種が生息生育している場あるいは生息生育している可能性が高い場としての価値
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	7) 分布が限定されている、特異な環境へ依存するなど、その生息に特殊性がある種が生息生育している場又は生息生育の可能性が高い場としての価値		
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	8) 越冬、休息、繁殖、採餌、移動（渡り）など、動物の生活史にとって重要な場としての価値		
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	9) 既存の保護地域又は自然共生サイト認定区域に隣接する若しくはそれらを接続するなど、緩衝機能や連続性・連結性を高める機能を有する場としての価値		

活動により増進を図る生物多様性の価値について、タイプごとにチェックします

※その他、別紙2以外の様式は1つの計画につき1つ作成で構いません。

別紙 2 ①活動内容【タイプごとに作成】

計画内に複数の類型（維持・回復・創出）が存在する場合、当シートを複写して類似ごとに整理してください。

別紙2 サイト詳細シート①活動内容		管理番号		
活動類型	内容			
1. 実施区域				
(1) 実施区域の状況	<p>本サイトは、〇〇県〇市の中山麓地帯（標高0m～約200m）に、<u>樹田</u>、<u>里山林</u>、<u>水田</u>（<u>棚田</u>）といった里地・里山の境域が形成されている。</p> <p><u>棚田</u>では化学肥料や農薬の利用を抑えた環境保全型農業を行い、〇〇サンショウウオの生息場所として利用されている。</p> <p>〇〇地域の代表的な里地・里山の自然環境を有することから、「〇〇100選」に選定されており、定期的に定期的なエコツアーの開催や、市内の小中学校見学の場としても知られている。</p>			
(2) 生物多様性の状況	<p>①里地・里山といった二次的な自然環境に特徴的な生態系が存する場としての価値。</p> <p>②希少な動植物が生息生育している場あるいは生息生育している可能性が高い場としての価値を有する。</p> <p>里地・里山境域に典型的な生態系が維持され、<u>田</u>、<u>斜面林</u>などの多様な環境により、希少種を含めたチョウ、トンボ、野鳥、草本類などの生息生育地となっている。</p> <p>詳細は「別紙2 ②サイトの状況等」とのとおり。</p>			
(3) 保護地域との重複	<p>● <input checked="" type="checkbox"/> あり ○ なし</p> <p>保護地域名（〇〇局群保護地域）</p>			
(4) 土地利用の変遷	<p>本サイトの大半を占めるクヌギ・コナラの二次林は、薪炭林としての利用が1960年代頃から衰退し、遊牧が進んだ状態にある。ただし一部で家畜用の薪採取が今も続いている。</p> <p>本サイトで中部の水田（<u>棚田</u>）では2000年代に耕作放棄が進んだが、2010年代後半からNPO団体が市民活動を展開・維持している。</p>			

- ・旧様式の「別紙 1 - 2 増進活動実施計画」シートの一部の内容を微修正したものです。
- ・複数タイプの場合には、シートを複写します。

複数タイプの場合には、どのタイプに関するものが選択します。

別紙 2 ②サイトの状況等【タイプごとに作成】

計画内に複数の類型（維持・回復・創出）が存在する場合、当シートを複写して類型ごとに整理してください。

別紙2 サイト詳細シート②サイトの状況等

活動類型 維持

1. サイトの基礎情報（必須）

サイト名称	日本語名	〇〇の森				
	英語名	●●-forest				
サイト住所	東京都千代田区霞が関1234-5678					
サイト面積	100.01	ha	(うち、海域部分)	ha		
	面積の換算方法:		<input checked="" type="radio"/> GISによる面積計算	<input type="radio"/> その他 ()		
活動類型	<input checked="" type="radio"/> 生物多様性の維持 <input type="radio"/> 生物多様性の回復 <input type="radio"/> 生物多様性の創出					
生態系タイプ	森林	草原	農地	都市	陸水域	沿岸域
	<input type="checkbox"/> 天然林 <input checked="" type="checkbox"/> 里山林 <input checked="" type="checkbox"/> 人工林	<input type="checkbox"/> 自然草原 <input type="checkbox"/> 二次草原・草地	<input checked="" type="checkbox"/> 水田 <input type="checkbox"/> 畑・果樹園・牧草地	<input type="checkbox"/> 創出緑地	<input type="checkbox"/> 河川・湖沼 <input type="checkbox"/> 富栄養性・中間性 <input type="checkbox"/> 厚・湧水湿地 <input type="checkbox"/> 低栄養性・湿地	<input type="checkbox"/> サンゴ（礁） <input type="checkbox"/> 藻場・岩礁 <input type="checkbox"/> 干潟・マングローブ林 <input type="checkbox"/> 砂浜

- ・旧様式の別紙 1 ②サイトの状況等シートの内容を微修正したものです。
- ・複数タイプの場合には、シートを複写します。

複数タイプの場合には、どのタイプに関するものが選択します。

地域生物多様性増進活動手引きをわかりやすく見直しました

- 地域生物多様性増進活動手引きについて、わかりやすくするため構成を見直しました。
- その他、わかりにくい表現を見直すとともに、Q&Aや様式集を新設しました。

地域生物多様性増進活動手引きの構成

【新手引きの構成】

書類名
地域生物多様性増進活動手引き <概要編>
地域生物多様性増進活動手引き <提出書類・記載例編>
別紙 1 効果が期待できる活動手法
生態系タイプ別の活動手法リスト
モニタリング手法リスト
別紙 2 生物多様性の価値

【旧手引きの構成】

書類名
地域生物多様性増進活動手引き <本体>
別紙 1 効果が期待できる活動手法
生態系タイプごとの活動手法リスト
モニタリング手法リスト
別紙 2 生物多様性の価値
別紙 3 記載例

- ①旧手引きの「地域生物多様性増進法活動の手引き<本体>」を下記2つに分けました。
- ・ 地域生物多様性増進活動手引き（概要編）：制度概要や手続き全般に関する資料
 - ・ 地域生物多様性増進活動手引き（提出書類・記載例編）：申請書類の作成のための参考資料
- ②旧手引きの「別紙3 記載例」について、新手引きの「地域生物多様性増進活動手引き（提出書類・記載例編）」に入れ込みました。

その他の見直し

- ・ 目次に該当ページへのリンクを埋め込み（地域生物多様性増進活動手引き<概要編><提出書類・記載例編>）
- ・ よくあるお問合せについて、Q&A集を新設（地域生物多様性増進活動手引き<概要編>）
- ・ 申請様式や参考リンクについて、様式集を新設（地域生物多様性増進活動手引き<概要編>）

第5章 Q&A（随時更新）

01. 地域生物多様性増進法とは何ですか？
A1. 自然共生サイトを法制化した制度になります。詳しくは「法律の概要」をご確認ください。
<https://policies.env.go.jp/nature/biodiversity/30bv30alliance/documents/lowBio/30bv30site-legalOverviewBiodiversityPromoAct.pdf>
02. これまでの自然共生サイト認定制度との違いは何ですか？
A2. 「法施行後の自然共生サイト制度について」スライド4をご確認ください。
<https://policies.env.go.jp/nature/biodiversity/30bv30alliance/documents/lowBio/30bv30site-NaturalSymbiosis.pdf>
03. 生物多様性の増進とは何ですか？
A3. 生物多様性を維持、回復、創出することを併せて「増進」としています。
04. 生物多様性の維持とは何ですか？
A4. 既に良好な生物多様性が存在する場を維持する活動を指します。具体的には、申請時点において実施区域が生物多様性の価値を有している場合になります。なお、維持タイプで認定された活動計画の実施区域については、保護地域との重複を除き、OECD国際データベースに登録します。また、これまで自然共生サイトとして認定されてきたものは、この類型に当たります。
05. 生物多様性の回復とは何ですか？
A5. 過去に生物多様性が豊かであったが、その多様性が損失した場又は損失が進行している場において、その多様性を回復する活動を指します。具体的には、管理放棄地の再生や手が入っていない森林（二次林）の再生等が該当します。また、荒廃農地における湿地の造成、失われたサンゴ礁の造成等についても、過去に失われた生態系が回復するものとして、回復タイプとして整理されます。

（参考）様式集

- 認定申請書
- 増進活動実施計画 様式一式
- 様式1-1 申請書
<https://view.officeapps.live.com/op/view.aspx?src=https%3A%2F%2Fpolicies.env.go.jp%2Fnature%2Fbiodiversity%2F30bv30alliance%2Fdocuments%2FFlowBio%2F30bv30site-1-1ApplicationFormApprovalEnhancement.docx&wdOrigin=BROWSELINK>
- 様式1-2 別紙1 増進活動実施計画
<https://view.officeapps.live.com/op/view.aspx?src=https%3A%2F%2Fpolicies.env.go.jp%2Fnature%2Fbiodiversity%2F30bv30alliance%2Fdocuments%2FFlowBio%2F30bv30site-1-2-1AttachPlan-ActivityEnhancement.xls&wdOrigin=BROWSELINK>
- 様式1-2 別紙2 概要
<https://view.officeapps.live.com/op/view.aspx?src=https%3A%2F%2Fpolicies.env.go.jp%2Fnature%2Fbiodiversity%2F30bv30alliance%2Fdocuments%2FFlowBio%2F30bv30site-1-2-2AttachPlan-OutlinePlan.pdf&wdOrigin=BROWSELINK>
- 様式4-1 特例措置活用有無
<https://view.officeapps.live.com/op/view.aspx?src=https%3A%2F%2Fpolicies.env.go.jp%2Fnature%2Fbiodiversity%2F30bv30alliance%2Fdocuments%2FFlowBio%2F30bv30site-4-1SpecialExceptionUtilizationList.docx&wdOrigin=BROWSELINK>
- 連携増進活動実施計画 様式一式
- 様式2-1 申請書

Q&Aのイメージ

様式集のイメージ

お問合せ先

- その他、様式の記載方法や、申請方法、制度全般に関することは、「地域生物多様性増進活動の手引き」を参照してください。
- 申請様式の作成に当たって、ご不明な点などございましたら、下記お問合せ先までご相談ください。

＜お問合せ先＞

○制度全般に関するお問合せ先

環境省自然環境局自然環境計画課地域ネイチャーポジティブ推進室

担当：佐々木、吉田、数野（TEL：03-5521-8343）

○各地域での活動に関するご相談や申請に関するお問合せ

・環境省 地方環境事務所

北海道地方環境事務所	TEL 011-299-1953	釧路自然環境事務所	TEL 0154-32-7500
東北地方環境事務所	TEL 022-722-2874	関東地方環境事務所	TEL 048-600-0816
中部地方環境事務所	TEL 052-955-2131	信越自然環境事務所	TEL 026-231-6572
近畿地方環境事務所	TEL 06-6881-6504	中国四国地方環境事務所	TEL 086-223-1586
九州地方環境事務所	TEL 096-322-2433	沖縄奄美自然環境事務所	TEL 098-836-6400

・【事務局】独立行政法人環境再生保全機構 自然共生部

担当：審査課（TEL：044-520-9552）